

## ほめること・認め合うこと 菊池省三先生の特別授業より

今週は蒸し暑い日が多いようです。体調管理には十分注意してほしいと思います。6月1日（火）からは部活動強化週間がはじまり、3年生にとって最後の中巨摩総合体育大会へ向けた練習に、全校が一つになって取り組んでいます。

さて、6月4日（金）に全国的に著名な『菊池省三』先生をお迎えしての校内研究を行いました。ここで改めて菊池省三先生を紹介します。菊池先生は北九州市でいわゆる『学級崩壊』をおこしたクラスをことごとく立て直し、そればかりか見事に子どもたちを成長させ、卒業させていった経歴をお持ちの先生です。その手腕は九州地方のマスコミで話題となり、やがて東京のNHKが『プロフェッショナル仕事の流儀』で取り上げ、全国に情報発信しました。これが大きな転機となり、民放各局にも『たけしのニッポンのミカタ』『世界一番受けたい授業』など次々とその実践が取り上げられました。どんどんメジャーになっていき、全国から講演や研究会の講師要請で、ひっぱりだこになりました。やがて菊池先生は土日有給休暇も使い果たす生活となり、2015年3月に学校を早期退職、現在全国を行脚しながら、自分の考えや想い、スキルなど全国に提唱しています。昨年度はコロナのための臨時休校で少し回数が減りましたが、例年だと年200回以上の講演をこなしながら、小学館の雑誌や読売新聞の全国版などにも連載をもっています。著書は多数で現在も次々に出版されています。ものすごい過密スケジュールをこなしている売れっ子先生です。この菊池先生がスケジュールをやりくりして、私たち玉幡中学校のために来校してくださいました。



4日の2校時は1年3組で、3校時は2年3組で、そして4校時は3年2組で、菊池先生自ら道徳の授業をしていただきました。本校の教職員だけでなく、甲斐市内の小中学校の先生方にも声をかけ、その示範授業を参観させていただきました。今、全国で“ひっぱりだこ”の菊池先生の授業を、「世界で一番受けたい授業」を受けることのできる幸運！3つのクラスの生徒は、菊池先生の温かくほめて認めてくれる言葉がけに、意欲的に、主体的に授業に取り組んでいました。放課後は先生方（市内の小中学校の先生方も一緒に）との研究会を行いました。ここでも私たち教職員に、たくさんの素晴らしい学びを提供してくださいました。「人に認められることも人を認めることも喜びになる」「いい人間関係があれば自分の考えや価値観を交流できる」そういう学級を、学校をつくっていくことの大切さを改めて学ぶことができました。情報ツールあふれる時代に生きる子どもたちに、自分に自信を持ち、互いに協力しながら「自分らしさ」を大切に、しなやかにたくましく歩んでいく力を身に付けさせるためには、具体的にどうしていったらよいかを学ぶ貴重な機会となりました。私たち教職員のこれからの指導や授業へ活かしていきたいと思います。

### <生徒の感想>

☆みんなが思うことを話すことで似た意見、うなずける意見、それぞれの人の思いを理解することで、クラスがさらによくなったと思いました。拍手し、ほめあうことで明るい雰囲気になり、笑顔でいる友だちがとても多く感じました。そして、3年2組は互いに成長し、笑顔で過ごしていきたいです。そのために今回の話を思い出し、共に支え合う社会性を持っていきたいと思います。（3年2組 飯窪 煌さん）

☆こんなに貴重な経験をさせてもらった私たちは、幸せ者だなと思いました。菊池先生がしゃべると一気に引き込まれました。授業も最初から最後まで楽しくて、あっという間に時間が過ぎてしまいました。私はいろんなことに拍手するという行動に少し驚きました。でも拍手をされて嫌な気持ちになる人はいないのでとてもいいなと思いました。菊池先生を見て、私までポジティブになれました。そして、3年2組の素晴らしさに気づかせてくれた菊池先生に感謝したいです。（3年2組 白川想乃美さん）

## ＜生徒の感想＞

☆私は最初緊張していました。「どんな先生が来るんだろう？」と。でも先生はとてもユーモアがあり、私のそんな気持ちは一瞬でなくなりました。「世界一受けたい授業」をこんなに近くで受けられた私たちは幸せです。「毎回こんな授業だったらいいなあ」と思うくらい楽しい授業でした。そして今日の授業は時間が過ぎるのが早くて、後5分・・・、終わってほしくないと思えた授業でした。本当にありがとうございました。(2年3組 田中美有さん)

☆黒板にクラスみんなで書いた「言われてうれしい言葉」を見て、これからはこういった素敵な言葉をたくさん使っていこうと思いました。今回、菊池先生から学んだことを心に留めて、日頃から思い返して、大変なことがあっても頑張っていこうと思います。(2年3組 窪田千尋さん)

☆明るく笑いの出るおもしろさと考えさせられる問題や「なるほど」となっとくやひらめきをくれる問題を学ぶことができる、菊池先生の授業はとても印象に残るものでした。“夢”は今の僕たちにとって一番大切なものだと思えます。だから、この気づきや授業でみんなで話し合ったことや教えてもらったことは忘れません。(1年3組 金子暖さん)

☆菊池先生は私にとって出会えてよかった人だと思いました。仲間の良さを引き出して共有してくれたり、みんなの考えや行動を大切にしてくださいました。先生のおかげで、みんなのことがより「いい人が多いな。みんな優しいな」ということに気づかせてくれました。「ずっと聞きたい」と思いました。(1年3組 滝沢陽菜音さん)



## 「生徒総会ってすごい」その意味は・・・

生徒会執行部が考えた原案は、今年1年を貫く目標として十分なものでした。生徒会活動テーマの設定理由には「それぞれが自分の役割を考え、意識し、明るく前向きに取り組む」とあります。キーワードは“目標”と“考える”です。目標を持つにはどうしたらいいかという①振り返りをする②理想や目的を再認識する③他人の指摘を受け入れることが大切です。この3つを意識して一日一日を繰り返したら成長は必ず実感できると思います。また、3つの重点項目にもそれぞれ重要な意味があると思います。①“あいさつ”には“小さな勇気”の重要性が込められていると思います。②“奉仕”には、“気づき”と“声かけ”が必要です。③生徒会活動には、一人一人の“責任感”が問われていると思います。

最も議論が熱くなったのは、＜奉仕＞の柱に出てきた「クラスの協力をだしていく」という点でした。ボランティア活動を全校に広げていこうと考え、提案した執行部と、このようなことをしたらボランティアではなくなるという意見がでたときでした。簡単に引き下がるず、自分の意見を述べていた何人かの生徒の姿は立派なものでした。その後、執行部も全校での話し合いを求め、全校生徒が各班で話し合う姿、一人も無関心な姿がなかったことは本当に素晴らしいと感じました。生徒総会のはじまる前に全校生徒に私が伝えたことは、“意見”には必ず“理由”が必要であることを伝えました。“説得力ある意見を述べる力”は社会に出ても通用する力となります。そのためには、「話し合いの経験を積む」ことが大切です。生徒総会でしっかりと発言できなかった人もいます、でもその経験は必ず生きてきます。努力した自分をたたえてくじけず生かしてほしいと思います。発言しなかったが真剣に参加していた人、次は学級のなかでもいから発言しましょう。人ごとだった玉中生はいないと思いますが、話し合いの力は、一生ものの「生きる力」になります。是非とも自分自身の未来を切り開いていくためにも全員につけていってほしいと思います。



## 「生徒総会ってすごい」その意味は

生徒会執行部が考えた原案は、今年1年を貫く目標として十分なものでした。生徒会活動テーマの設定理由には「それぞれが自分の役割を考え、意識し、明るく前向きに取り組む」とあります。キーワードは“目標”と“考える”です。目標を持つにはどうしたらいいかというと①振り返りをする②理想や目的を再認識する③他人の指摘を受け入れることが大切です。この3つを意識して一日一日を繰り返したら成長は必ず実感できると思います。また、3つの重点項目にもそれぞれ重要な意味があると思います。①“あいさつ”には“小さな勇気”の重要性が込められていると思います。②“奉仕”には、“気づき”と“声かけ”が必要です。③生徒会活動には、一人一人の“責任感”が問われていると思います。最も議論が熱くなったのは、＜奉仕＞の柱に出てきた「クラスの協力率を出していく」という点でした。ボランティア活動を全校に広げていこうと考え、提案した執行部とこのようなことをしたらボランティアではないという意見が